

第28回（1-3月期）

川口商工会議所リアルタイム景況調査

2022年4月 川口商工会議所

調査概要・回答者属性

調査概要

- 調査期間 : 令和4年4月11日～4月15日
- 調査対象 : 会員事業所 400件 (FAX346件、メール305件、重複317件)
- 回答数 : 回答数 : 101件 回答率 : 25.3%
- 調査方法 : FAX・メールによる送付、FAX・Web (Googleフォーム) による回答
- 分析方法 : 売上、採算、従業員、業況などについて、「増加」(好転など)と答えた企業割合から、減少」(悪化など)と答えた企業割合を差し引いた値DIを中心に分析

(DI:Diffusion Index)

回答者属性

問1 (1) 業種、(2) 業歴、(3) 資本金、(4) 従業員

業種	実数	%
製造業	29	28.7%
建設業	11	10.9%
卸売・小売・飲食業	22	21.8%
サービス業	32	31.7%
その他	7	6.9%
総計	101	100.0%

従業員数	実数	%
0～5人	45	44.6%
6～20人	18	17.8%
21～50人	17	16.8%
51～100人	7	6.9%
101～300人	8	7.9%
301以上	6	5.9%
総計	101	100.0%

業歴	実数	%
5年未満	9	8.9%
5～10年	8	7.9%
11～20年	15	14.9%
21～30年	8	7.9%
31～40年	9	8.9%
41～50年	14	13.9%
51～60年	14	13.9%
61～70年	11	10.9%
71～80年	4	4.0%
81～90年	4	4.0%
91～100年	3	3.0%
101年以上	2	2.0%
総計	101	100.0%

資本金	実数	%
個人事業主	14	13.9%
500万円以下	24	23.8%
500万円超～1千万円以下	23	22.8%
1千万円超～3千万円以下	12	11.9%
3千万円超～5千万円以下	11	10.9%
5千万円超～1億円以下	8	7.9%
1億円超～	8	7.9%
その他	1	1.0%
総計	101	100.0%

調査結果概要

<箇条書きスタイルについて>

- ・ データやグラフの説明
- データやグラフの結果から読み取った考察

<業種DI>

- ・ 製造業、建設業の仕入単価DIが、今期も先行きも約▲90以上となっており、売上高は上昇しているものの仕入単価高騰を鑑みて、業況も好転の兆しがないと予想している。
- ・ サービス業については、業況DIがマイナスであるもの先行きでは今期よりも「戻り」を期待している。

<現在直面している経営上の問題点>

- ・ 「仕入価格の上昇」や「コスト変動に対する価格転嫁」に対して問題意識を持っている。
- 付加価値額をいかに上げられるかが焦点となり、その対策として、「営業力・販売力の強化」も回答の上位となっている。今後、営業力向上や、開発・リブランディングの支援が必要であると考える。
- 「人材不足（32件）」、「従業員の教育（29件）」も上位にあることから、上記の問題点を解決するための組織力や即戦力化などへの問題解決のニーズに応える施策も必要である。

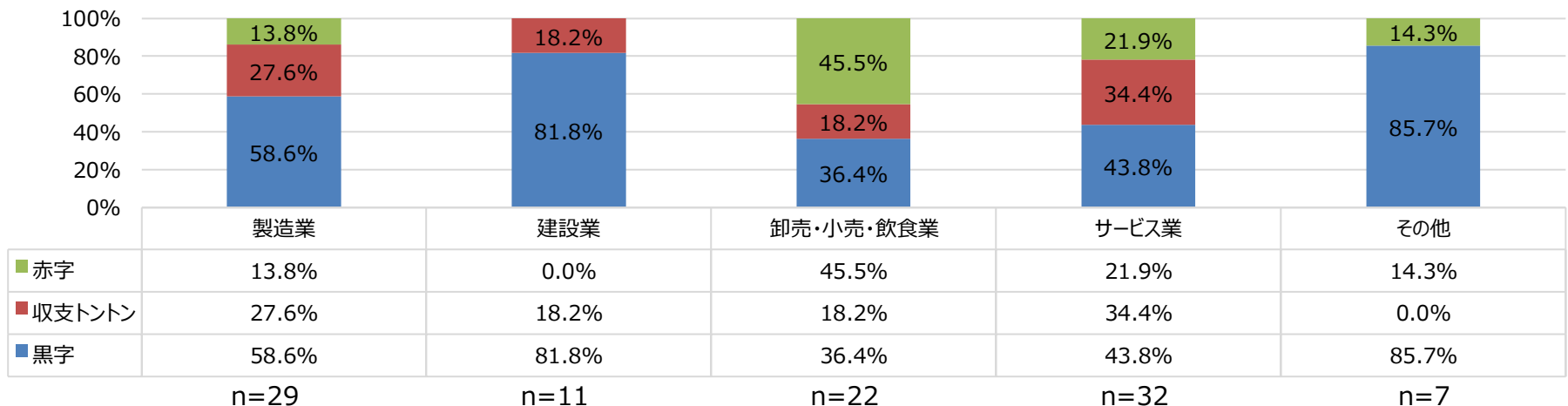
<ウクライナ情勢>

- ・ ウクライナ情勢による影響は、製造業の半数以上が回答しているが、その他の業種は20～30%に留まる。
- 「景気悪化による購買力低下」を挙げる理由もあり、製造業以外の業種においては、今後遅れて影響が出てくることが予想される。

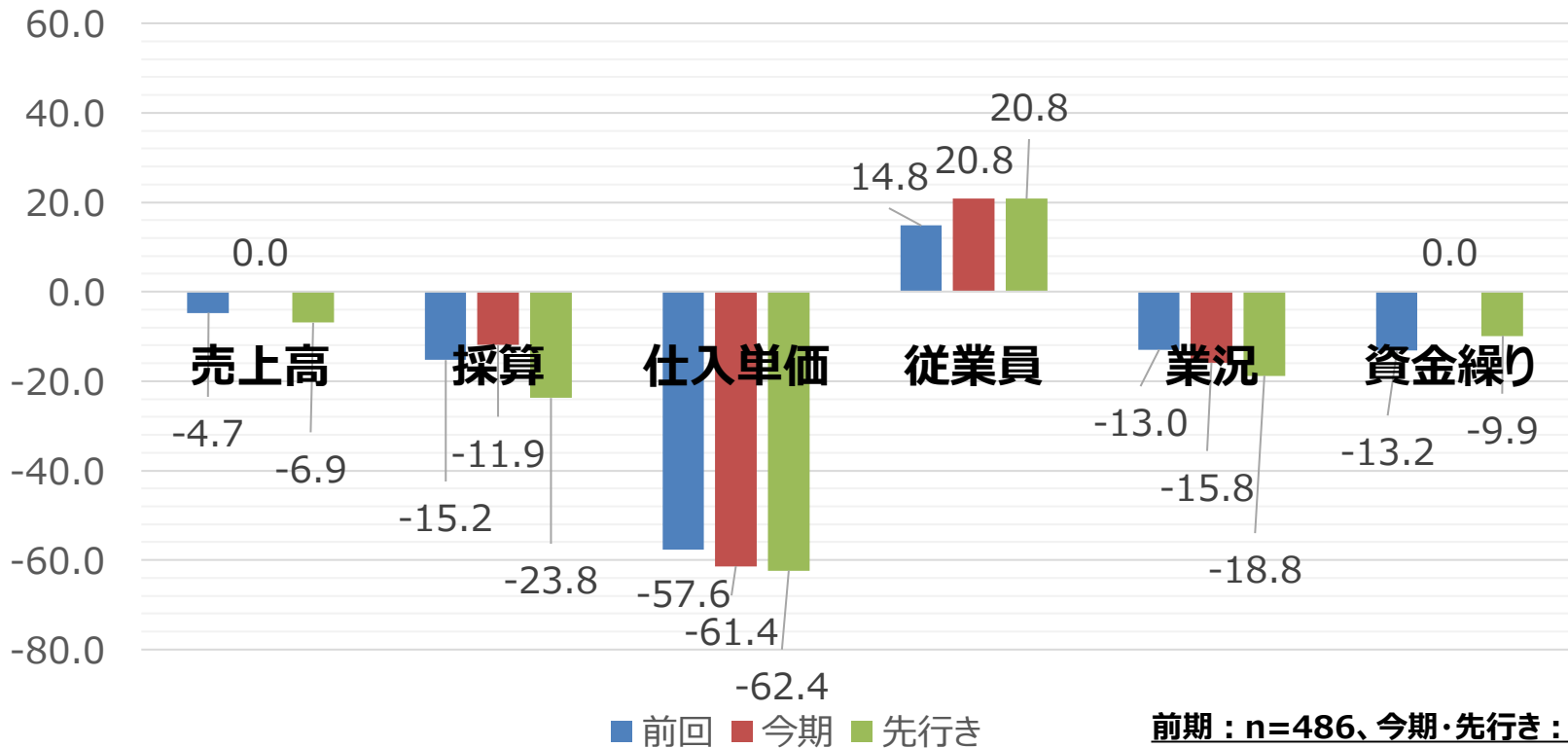
<直近の収益状況（下グラフ）>

- ・ 半数以上の黒字となった業種は製造業（58.6%）と建設業（81.8%）のみ。赤字が半数近くある業種は卸売・小売・飲食業（45.5%）のみ。

問1（5）：収益状況（直近の決算、それ以外は今期の見込み）



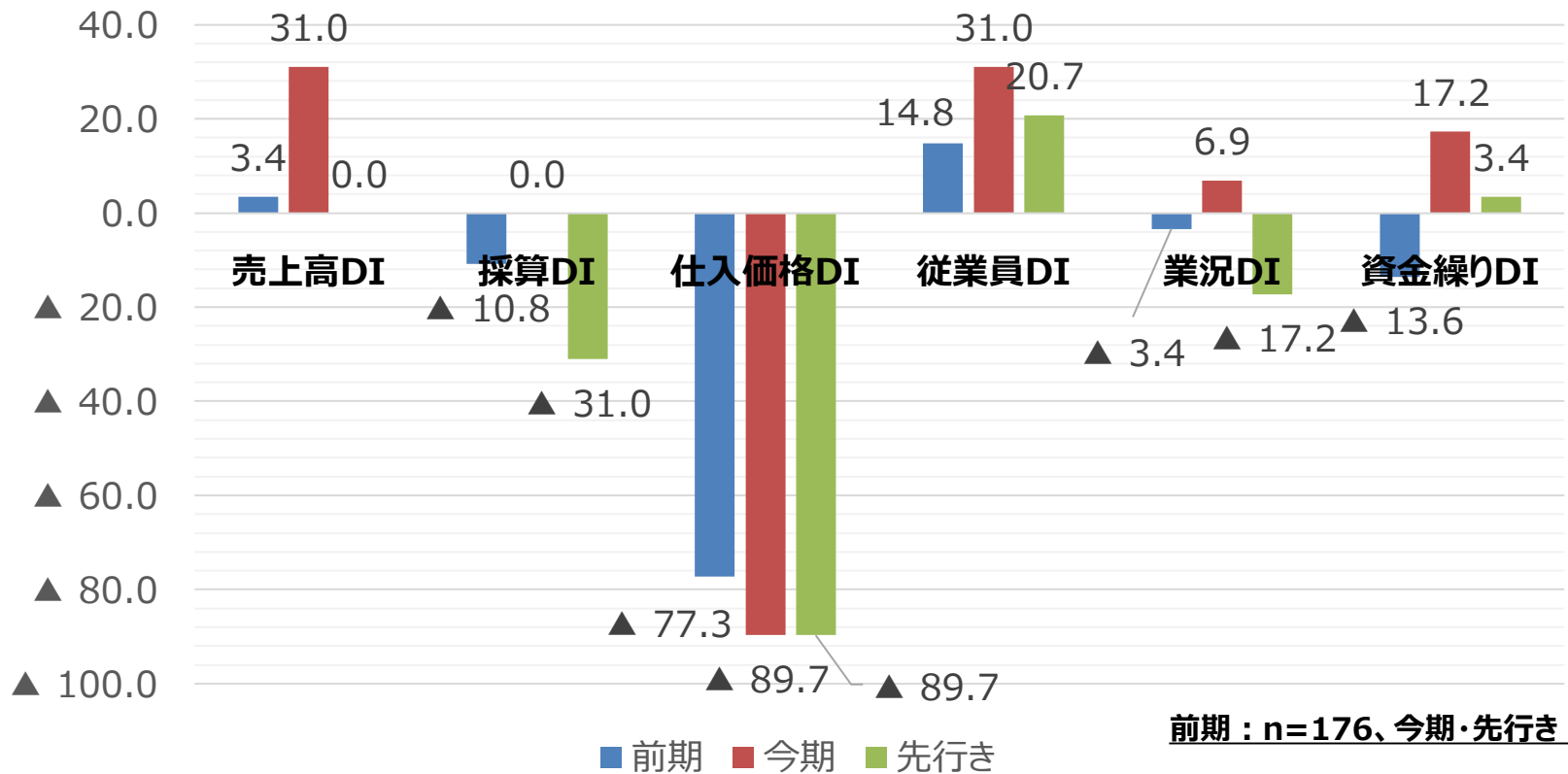
問2：景況感について | 全業種DI（前回-今回-先行き）



考察

- 売上高DI、採算DIを見ると、今期（1-3月）は、前期（10-12月）から約4ポイント上昇している。
- 一方、先行き（4-6月）では、売上高DIは約7ポイントの下落、採算DIは約12ポイントの下落となる。
- 資金繰りDIも、今期13ポイント以上の好転となったが、先行きでは約10ポイント悪化すると見られている。
- 仕入単価DIが前期から今期、さらに先行きも悪化している点から、後述のウクライナ情勢や原価高騰の煽りを受けていることが、先行きの見通しが悪くなっている要因として考えられる。

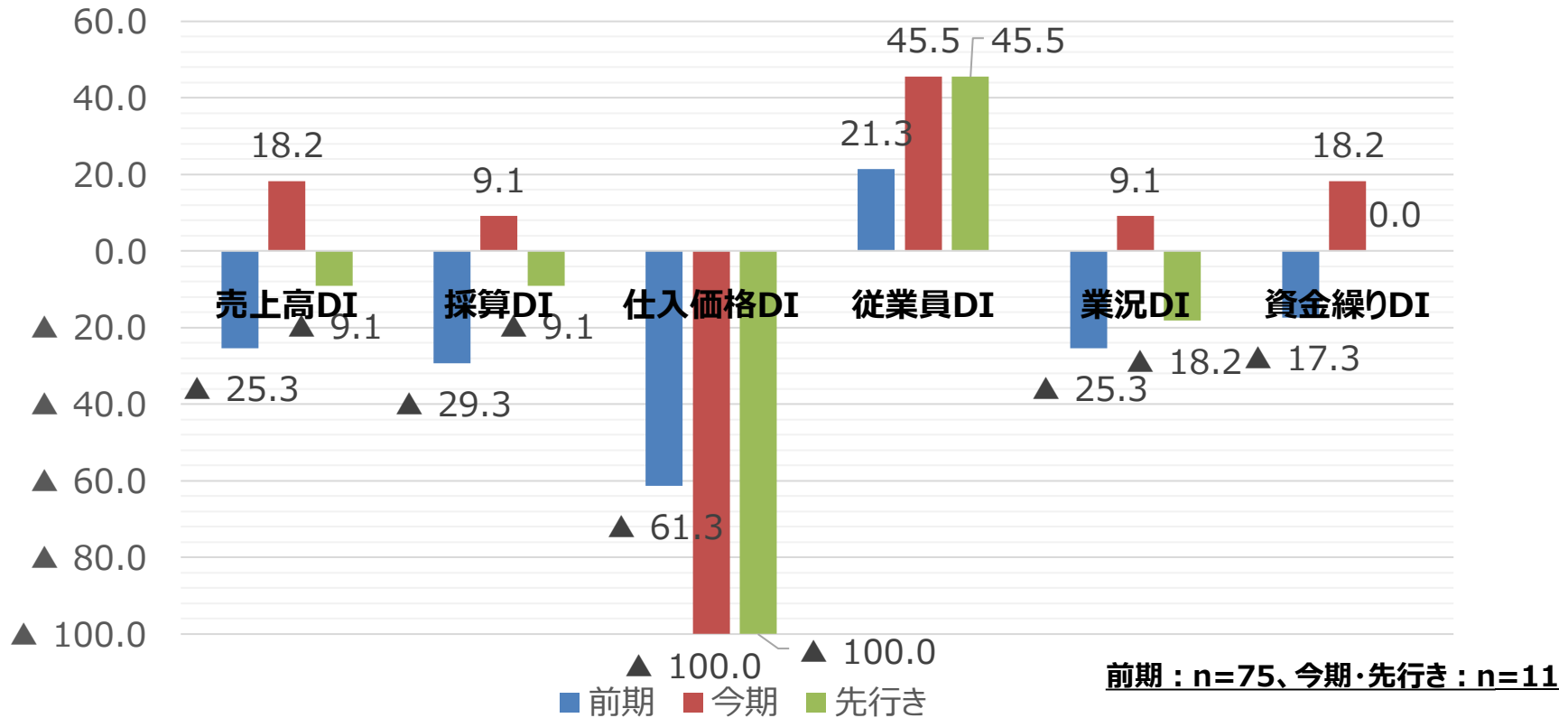
問2：景況感について | 製造業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 製造業では、今期の売上高DIが31、業況6.9、資金繰りDIが17.2と、増加（好転）割合が高いものの、先行きではいずれも下降している。
- 特に、今期から先行きにかけて、採算DIが31ポイント、業況DIが24.1ポイントと大きく下降している。
- 仕入価格DIが、建設業に次いで今期も先行きも▲89.7となっており、売上高としては上昇しているものの仕入れ価格高騰を鑑みて、業況も好転の兆しがないと予想していることがうかがえる。

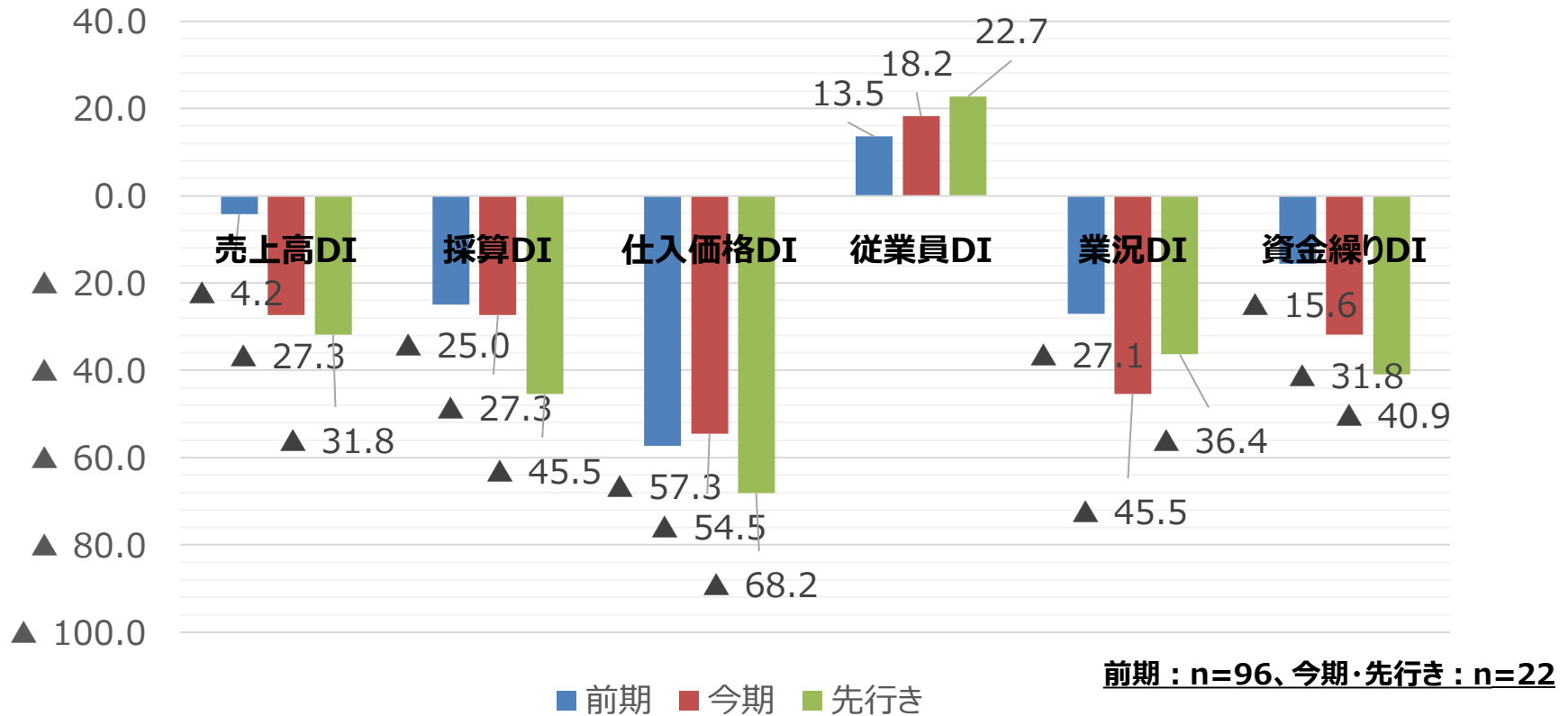
問 2 : 景況感について | 建設業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 建設業では、今期の売上高DIが18.2、業況DIが9.1、資金繰りDIが18.2と、増加（好転）割合が高いものの、先行きではいずれも下降している。
- 特に、採算DIが18.2ポイント、業況DIが27.3ポイント下降している。
- 仕入価格DIが、今期も先行きも▲100となっており、売上高としては上昇しているものの仕入れ価格高騰を鑑みて、業況も好転の兆しがないと予想していることがうかがえる。

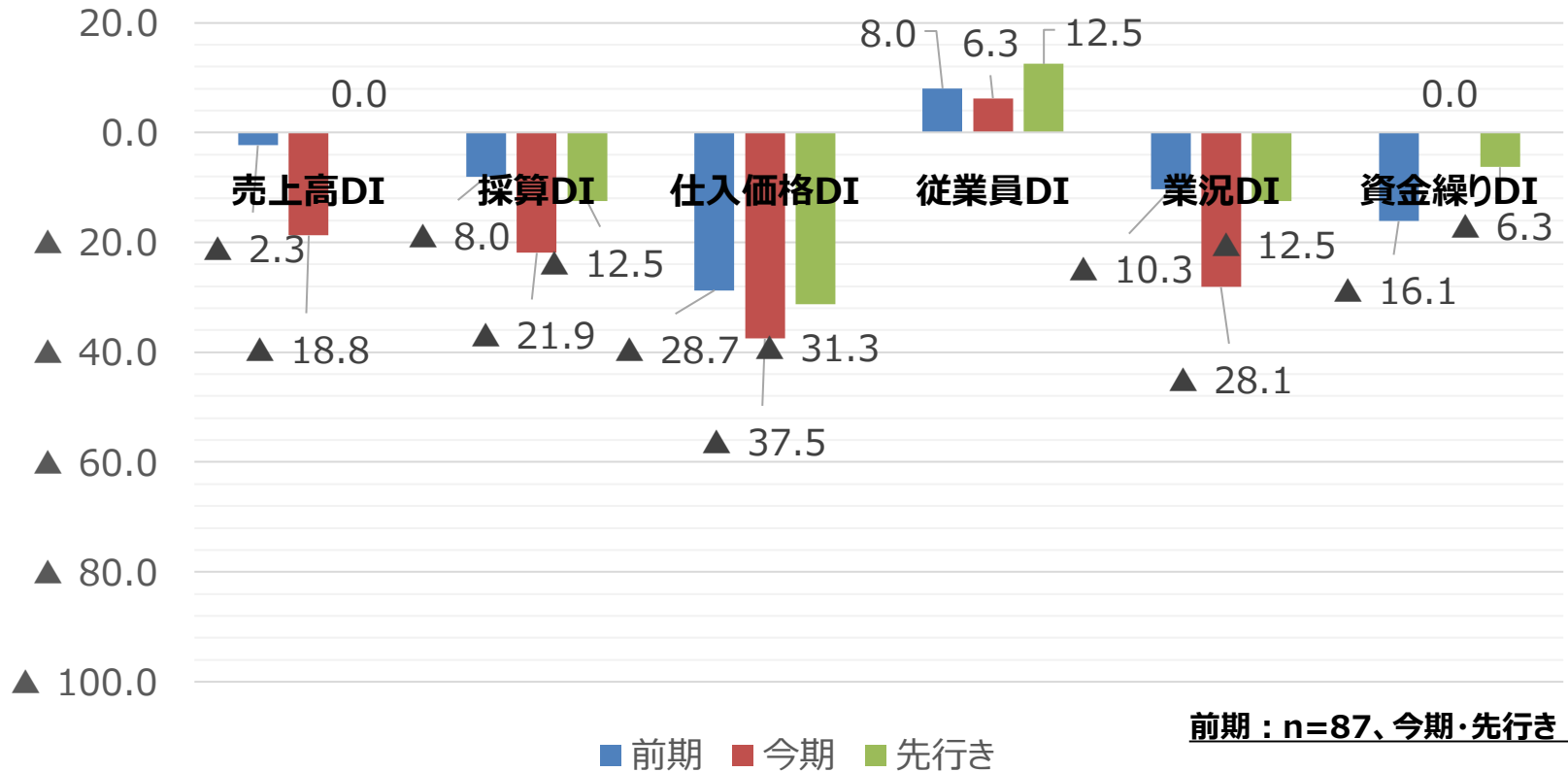
問2：景況感について | 卸売・小売・飲食業DI（前回-今回-先行き）



考察

- 卸売・小売・飲食業では、今期の売上高DIが▲27.3、採算▲27.3、資金繰りDIが▲31.8と、減少（悪化）割合が高く、さらに先行きではいずれも下降している。
- 一方で、業況DIは今期▲45.5に対し、先行きは9.1ポイント上がった▲36.4となった。
- 全体的に、減少（悪化）傾向にはあるが、従業員は増やしていこうという積極的なスタンスが見える。

問2：景況感について | サービス業DI（前回-今回-先行き）



考察

- サービス業では、今期の採算DIが▲21.9、仕入価格DI▲37.5、業況DIが▲28.1と減少（悪化）であるが、先行きでは10ポイント以上の改善が見られ、他業種とはちがった傾向が見られた。
- 仕入価格DIが今期▲37.5に対し、先行きでは▲31.3といった6ポイント上昇（好転）も他業種と違う傾向がある点から、蔓延防止措置解除に加えて、業況の「戻り」を予想している要因と考えられる。

問3-1：コロナによる経営への影響

(※)「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。

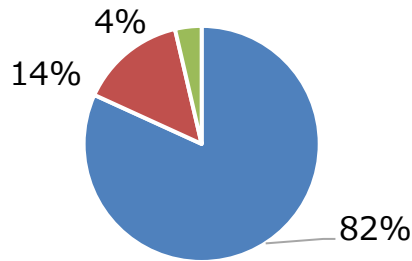
	全体 n=101	製造業 n=29	建設業 n=11	卸売・小売 飲食業 n=22	サービス業 n=32	その他 n=7
悪化の影響が続いている	34%	31%	0%	45%	44%	14%
今後(※)、悪化の影響が見込まれる	16%	3%	27%	23%	16%	29%
既に改善の影響がある	11%	21%	0%	5%	6%	29%
今度、改善の影響が見込まれる	11%	14%	9%	18%	6%	0%
特に影響はない	26%	24%	64%	9%	25%	29%
わからない	3%	7%	0%	0%	3%	0%

全体の割合よりも
+5%高い業種を色付け

問3-2：売上高の減少

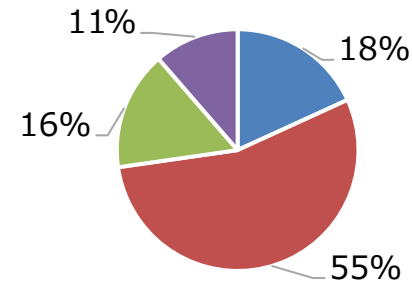
問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

問3-2 n=55



- コロナ前(2020年1月ごろ)と比較し「減少している」
- 特に変化はない

問3-2(減少率) n=44



- 10%未満
- 10~30%
- 31~50%
- 51%以上

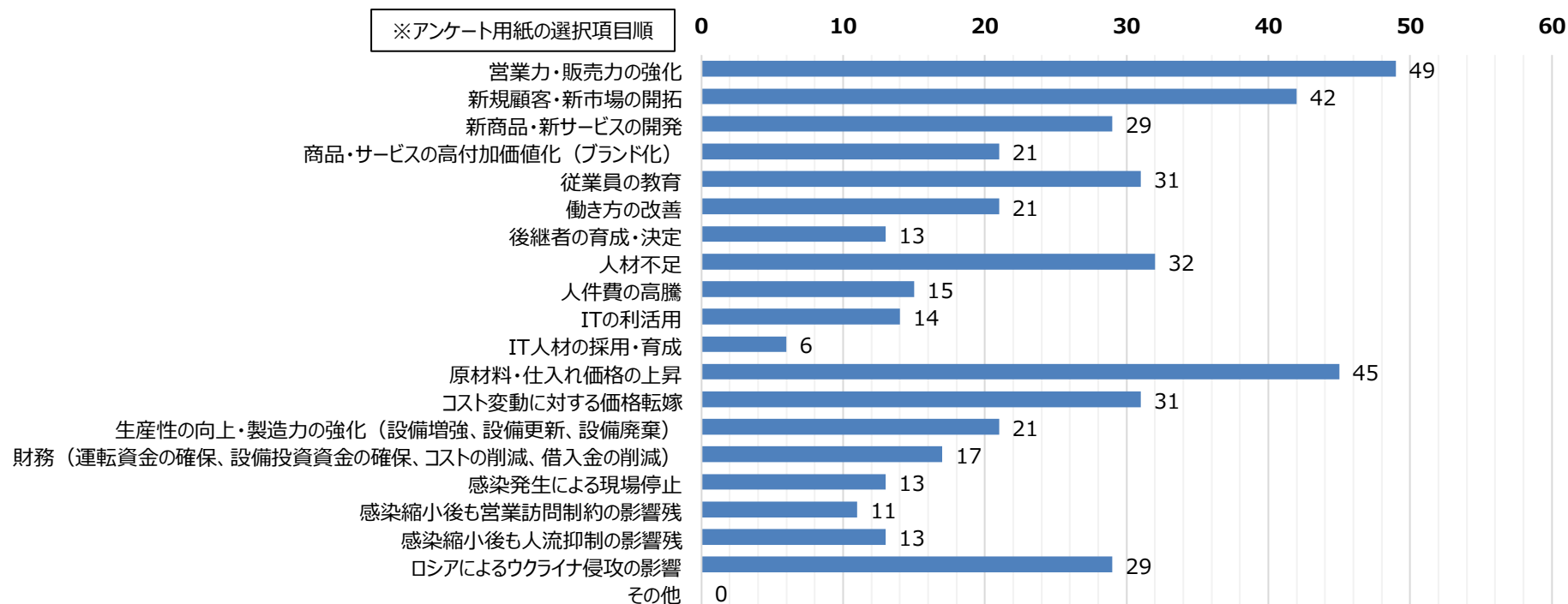
考察

- 問3-1では、全体では、「悪化の影響が続いている」「今後悪化の影響が見込まれる」が50%を占めている。
- 問3-2の回答では、コロナ前との比較して82%が減少と回答し、50%以上の減少率がある回答者が半数以上いる。
- 「卸売・小売・飲食業」は、悪化の見込と改善の見込みにも20%前後の割合を占めていることから、業種だけでなく、業態や販売方法・内容における要因を把握することで、より実態が鮮明になる。

問4：感染症拡大の影響により現在直面している経営上の問題点

ウィズコロナ・アフターコロナにおける企業経営の課題について伺います。

n=101、複数回答453件

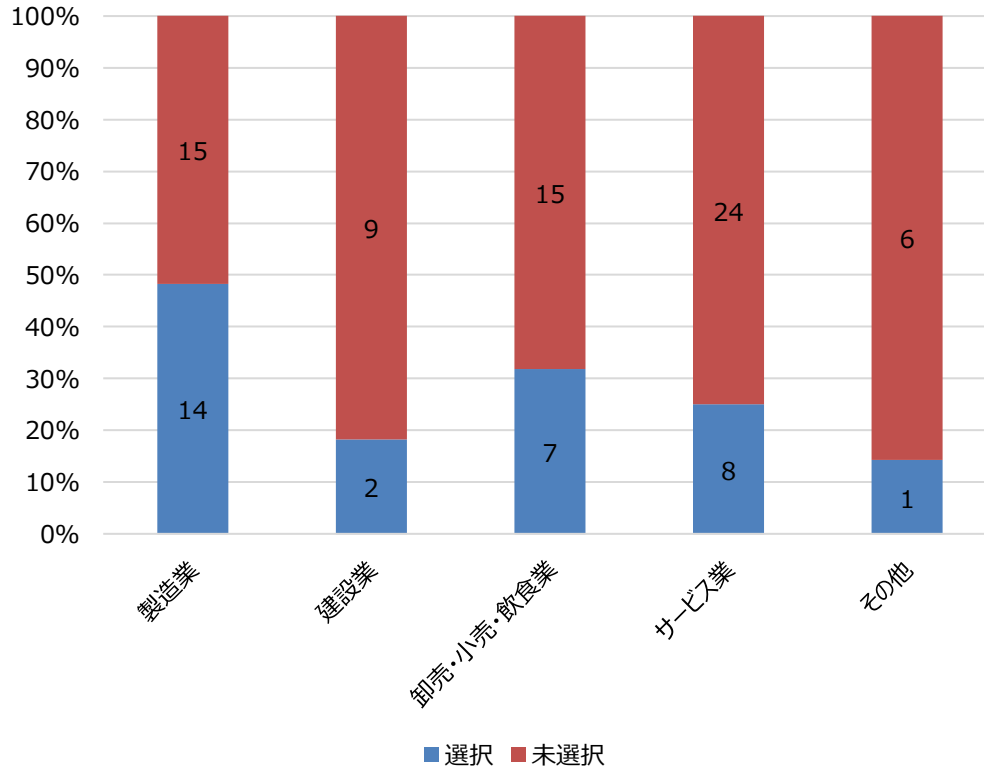


考察

- 現在直面している経営上の問題点として、「営業力・販売力の強化（49件）」、「原材料・仕入価格の上昇（45件）」、「新規顧客・新市場の開拓（42件）」が上位にある。
- 「仕入価格の上昇」や「コスト変動に対する価格転嫁」に対して、付加価値額をいかに上げるかが焦点となり、その対策として、開発やリブランディングといった取組方法を模索していることが考えられる。
- 「人材不足（32件）」、「従業員の教育（29件）」も上位にあることから、上記の問題点を解決するための組織力や即戦力化などへの問題解決のニーズに応える施策も必要である。

問5：問4の「ロシアによるウクライナ侵攻の影響」回答者の具体的な影響

業種別、「影響」回答者の内訳（件数）



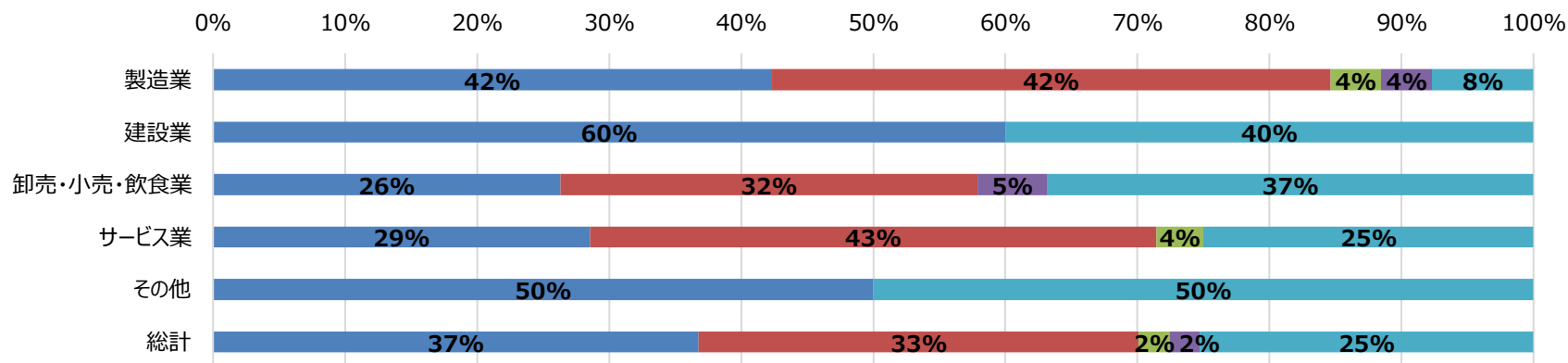
影響する具体的な回答

- プラスチック製品、燃油代と影響している。
- 欧州行き航空便の経路変更により旅費が急激に上昇している
- 海外のスポーツ中継に関わるなど、海外の会社との取引があるため
- 金属材料価格の高騰、円安による海外調達品の高騰
- 景気悪化による購買力の低下
- 原材料高騰（小麦、木材、金属材料など）
- 原油高騰
- 原油高騰による燃料経費の出費
- 渡欧の時間的負担
- 輸出入の遅延

考察

- ウクライナ侵攻の影響を受けていると回答と未選択の割合を示した。
- 製造業の約半数の回答者が「影響を受けている」と回答しており、原油高騰や原材料高騰を理由にしている。
- その他の業種においては、20～30%の割合で影響があると回答しているが、未選択の割合が大きい。
- 「景気悪化による購買力低下」といった理由もあることから、製造業以外の業種においては、今後遅れて影響が出てくることが予想される。

問6：民間金融機関による新型コロナウイルス感染に関連した融資の据置期間終了に伴う経営への影響



	製造業	建設業	卸売・小売・飲食業	サービス業	その他	総計
■ 特に問題なく返済予定である	42%	60%	26%	29%	50%	37%
■ 厳しい状況であるが返済予定である	42%	0%	32%	43%	0%	33%
■ 返済計画の変更を検討している	4%	0%	0%	4%	0%	2%
■ 既に返済計画を変更した	4%	0%	5%	0%	0%	2%
■ 据置していない	8%	40%	37%	25%	50%	25%
	n=26	n=10	n=19	n=28	n=4	N=87

考察

「製造業」、「卸売・小売・飲食業」、「サービス業」について、厳しい状況であるが返済を予定しているとの回答が多く、今後計画変更の増加が予想される。

- 「卸売・小売・飲食業」や「サービス業」については、問3-1からコロナの影響がまだ続いている事業所が多いと考えられる。
- 「製造業」については、問5のウクライナ侵攻による影響を強く受けており、経営が厳しくなっている事業所が増えていると考えられる。

問7：今後の経営において、行政や商工会議所へ望むこと（トピックス）

経営上直面する課題が多様化している中、補助金・助成金や借入金についての支援のほか、販路に直結する支援が行政や商工会議所に期待されている。

- 補助金の拡充（IT導入補助金、設備投資、コロナ影響関連）／卸売・小売・飲食業（1）サービス業（1）
- 助成金や補助金が該当するかわかりやすい支援、書類のわかりやすさ／卸売・小売・飲食業（1）
- 借入金の利息等の補助があれば有難いと思う／卸売・小売・飲食業（1）
- 日本政策金融公庫から借り入れた資金の返済期間猶予のさらなる延長（1年程度）／サービス業（1）
- 原材料高騰の抑止／製造業（1）
- コンサルタントを無料で派遣してほしい／製造業（1）
- 中期的、長期的の観点でアドバイスやご指導を頂きたい／製造業（1）
- 会議所会員企業の一般の人への宣伝力／サービス業（1）
- 雇用の確保／サービス業（1）
- 売上高の回復／サービス業（1）
- 販路拡大への力添え／製造業（1）
- 経営相談の支援／サービス業（1）
- 自社ブランド品の開発支援／製造業（1）
- 地方自治体や公的機関への紹介を進めて頂きたい／製造業（1）
- i-monoブランド認定された後の導入支援。／製造業（1）
- (仮)川口ベンチャープラザを作り、ベンチャー企業支援を強化して欲しい。／製造業（1）
→研究開発主体のベンチャー企業が入居できる環境が、川口には埼玉県産業技術総合センターくらいしか無い。
- 中小企業に於ける電子帳簿保存法／サービス業（1）
- 電子決済手数料の団体割引／サービス業（1）
- インボイス制度／サービス業（1）
- 残業時間制限等の負担軽減の政府への提言／サービス業（1）
- 中小企業が物価上昇コストを機械的に価格に転嫁できるようにする制度の提言／製造業（1）

参考資料 第28回 (1-3月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

第28回 (1-3月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力をお願い

令和4年4月11日

会員のみなさまへ (必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。)

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「リアルタイム景況調査」を実施しております。このたび、第28回(1-3月期)調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、**4月16日(金)まで**に、FAXまたはアンケートフォーム(右QRコード)にてご返信いただきますようお願いいたします。



皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 川口商工会議所

アンケート調査票

問1 貴社の状況について、お伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 *複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売・小売業	4 飲食業
5 サービス業	6 その他 ()		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年～40年	6 41年～50年	7 51年～60年	8 61年～70年
9 71年～80年	10 81年～90年	11 91年～100年	12 101年以上

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

(4) 従業員(正社員)数(パート・アルバイトを除く)をご記入ください。

_____人

(5) 収益状況(直近の決算、それ以外は今期の見込み)

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、図でできる範囲で、該当部分に□チェックをご記入ください。

*期間の「今期」は 令和4年1月～3月としてお答えください。

1 売上高	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
2 採算	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
3 仕入単価	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
4 従業員	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
5 業況	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
6 資金繰り	(1) 今期(10月～12月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(4月～6月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

問3-1 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)による経営への影響をお聞かせください。

(いずれか1つに○をつけてください。)

- 1: 悪化の影響が続いている
 2: 今後(※)、悪化の影響が見込まれる } 問3-2へ (※「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。
 3: 既に改善の影響がある 4: 今後、改善の影響が見込まれる 5: 特に影響はない 6: わからない

問3-2 問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。

悪化の影響による売上高の減少はありますか(または減少すると思われますか)。(いずれか1つ)

- 1: コロナ前(2020年1月ごろ)と比較し「減少している」
 → (減少割合 ア: 10%未満 イ: 10～30% ウ: 31～50% エ: 51%以上)
 2: 特に変化はない 3: わからない

問4 ※改めて全ての方に、お伺いします。

ウイズコロナ・アフターコロナにおける企業経営の問題点について伺います。

感染症拡大の影響により現在直面している経営上の問題点について○をご記入ください(複数回答可)。

- 1: 営業力・販売力の強化 2: 新規顧客・新市場の開拓 3: 新商品・新サービスの開発
 4: 商品・サービスの高付加価値化(ブランド化) 5: 従業員の教育 6: 働き方の改善
 7: 後継者の育成・決定 8: 人材不足 9: 人件費の高騰 10: ITの活用
 11: IT人材の採用・育成 12: 原材料・仕入れ価格の上昇 13: コスト変動に対する価格転嫁
 14: 生産性の向上・製造力の強化(設備増強、設備更新、設備廃棄)
 15: 財務(運転資金の確保、設備投資資金の確保、コストの削減、借入金の削減)
 16: 感染発生による現場停止 17: 感染縮小後も営業訪問制約の影響残
 18: 感染縮小後も人流抑制の影響残 19: ロシアによるウクライナ侵攻の影響 → 問5へ
 20: その他 ()

問5 問4の19「ロシアによるウクライナ侵攻の影響」があると回答された方に伺います。

具体的な影響を教えてください。

問6 民間金融機関による新型コロナウイルス感染症に関連した融資の審査期間終了に伴う経営への影響をお聞かせください。

1: 特に問題なく返済予定である 2: 厳しい状況であるが返済予定である
 3: 返済計画の変更を検討している 4: 既に返済計画を変更した 5: 据置していない
 6: その他 ()

問7 今後の経営において、行政や商工会議所へ望むことをお聞かせください。

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。今年度より、ご回答いただきました会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。(非公開内容となります。)

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール (いずれかに○をお願いいたします。)
メールアドレス(メールでご希望の場合)	

ご協力ありがとうございました。*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。問い合わせ:川口商工会議所総合政策課(TEL:048-228-2220)